

廿日市市大野地域景況調査報告書（2024年4月～2024年9月）

1. 大野地域及び広島県内商工会地域における2024年4月～2024年9月のDI値（景気動向指数）

		製造業		建設業		卸・小売業		サービス業	
		前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し
売上	大野地域	▲33.3	0.0	▲66.7	▲66.7	▲100.0	0.0	50.0	50.0
	旧廿日市市	▲46.2	23.1	16.7	▲16.7	▲42.9	▲14.3	▲7.1	0.0
	県内商工会地域	▲23.5	▲21.6	▲33.4	▲38.1	▲26.9	▲29.8	▲7.2	▲13.1
仕入単価	大野地域	100.0	66.7	66.7	66.7	100.0	100.0	50.0	50.0
	旧廿日市市	73.7	57.9	69.2	46.2	100.0	85.7	50.0	33.3
	県内商工会地域	72.0	68.0	71.4	54.7	73.5	67.7	60.3	53.0
採算	大野地域	33.3	0.0	▲33.3	▲33.3	▲100.0	0.0	▲100.0	50.0
	旧廿日市市	15.4	23.1	0.0	16.7	▲28.6	0.0	61.5	7.7
	県内商工会地域	▲35.3	▲29.5	▲45.2	▲33.3	▲28.8	▲30.3	▲23.9	▲17.9

上記DI値からみた大野地域、旧廿日市市及び広島県内の景気動向であるが、売上については前年同期と比べて一部を除き、悪化の傾向が見られる。また採算については、大野地域、旧廿日市市においては一部改善もみられるものの、県内商工会地域は今後の見通しも含めて厳しい状況が続いている。従前より続いていた仕入単価の上昇傾向であるが、こちらは高止まりもしくは依然として上昇傾向であることが伺える。

次に業種別に動向を見ていくと、製造業の売上は県内商工会地域も含めて厳しい状況となっており、来期に向けても厳しい状況である。仕入単価も依然として上昇傾向となっているものの、今後は高止まりの傾向もみられる。

建設業については、大野地域においては厳しさが感じられるとともに、仕入単価は依然として上昇している。また採算についても、依然とし厳しい状況が続いている。

卸・小売業においては大野地域及び旧廿日市市内、県内商工会地域ともに依然として厳しい状況にあり、今後もその傾向が続くと予想されている。また、仕入単価も回答者のすべてが上昇していると答えており、採算も含め非常に厳しいとの見方となっている。

サービス業においては大野地域・旧廿日市市においては一部若干改善が見られ、仕入価格も他業種ほどの厳しさはうかがえない。今後の予測も改善の傾向であり、採算においても同様である。一方で、広島県内商工会地域においては依然として厳しい状況が続いている。

2. 大野地域サポーターの声

上記の、旧廿日市市及び広島県内の商工会地域の景況を踏まえたうえでの、大野地域サポーターの2024年4～2024年9月の景況感は下記の通りであった。

業種	サポーターの声
【製造業】	○材料費は依然として上昇中もしくは高止まりしている。 ○価格転嫁は難しく、若干の値上げはするものの利益を圧迫している。

	<p>○ハローワークへ求人を出す、求職者は高齢者が多い。</p> <p>○材料だけでなく包装材も値上がりが続いている。</p>
【建設業】	<p>○材料費は上がっており最近では連絡もなく、請求書を見ると上がっている状態。</p> <p>○以前のような品不足は解消している。</p> <p>○人手不足により応援の単価も上がっており、早めに人手を確保しておく必要がある。(土日や夜間の応援はさらに単価アップ)</p> <p>○人手不足対応は、若い職人が仲間を連れてくることで対応しているがこれは即戦力にはならない。</p>
【卸・小売業】	<p>○仕入単価高騰であるが、異常気象の影響もあり乱高下している。</p> <p>○野菜は高級食材となっている。</p> <p>○問屋の廃業により、そもそも安定的な仕入が難しくなっている。</p> <p>○仕入価格の乱高下により、価格転嫁そのものが難しい。</p> <p>○円安の影響が大きい。</p>
【サービス業】	<p>○業界としての価格改定により、価格高騰</p> <p>○飲食店は一時に比べると、売上が伸びている</p> <p>○観光客が戻ってきているため、売上は回復傾向</p>

3. 全国商工会地域における2024年9月のDI値（景気動向指数）

～産業全体の全DIが改善も、消費低迷・コスト高により停滞感が継続している小規模企業景況～

DI	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	2.5	4.7	2.2	1.6	3.6	2.0	5.0	11.3	6.3
採算	▲16.1	▲15.6	0.5	▲18.8	▲18.7	0.1	▲14.3	▲11.4	2.9
資金繰り	▲12.6	▲12.2	0.4	▲13.9	▲14.0	▲0.1	▲13.8	▲11.4	2.4
業況	▲11.0	▲10.5	0.5	▲13.5	▲14.2	▲0.7	▲9.7	▲7.2	2.5

DI	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲1.6	▲2.5	▲0.9	5.0	6.5	1.5
採算	▲20.3	▲20.4	▲0.1	▲11.0	▲12.0	▲1.0
資金繰り	▲15.8	▲15.6	0.2	▲7.0	▲7.7	▲0.7
業況	▲16.7	▲17.1	▲0.4	▲4.3	▲3.3	1.0

<製造業>…コスト高等が継続する中、業種によって業況が分かれる製造業

<建設業>…改善傾向から、価格転嫁等の前向きな取り組みを進めていきたい建設業

<小売業>…継続する物価高による消費低迷の影響が強い小売業

<サービス業>…好調な売り上げを価格転嫁に繋げたいサービス業

4. 「RESAS」(地域経済分析システム)を活用した地域の経済動向分析

【人口マップ ～廿日市市の昼間人口・夜間人口の地域別構成割合～】

昼間人口：就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地における15歳以上の人口であり、
従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口をいう。

夜間人口：地域に常住している15歳以上の人口である。

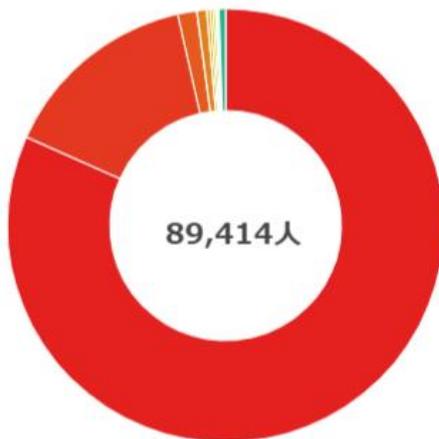
昼夜間人口比率：夜間人口100人当たり(15歳以上)の昼間人口(15歳以上)の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

昼間人口・夜間人口の地域別構成割合

2020年 広島県 廿日市市
昼間人口：89,414人
夜間人口：99,246人
(昼夜間人口比率：90.09%)

昼間人口

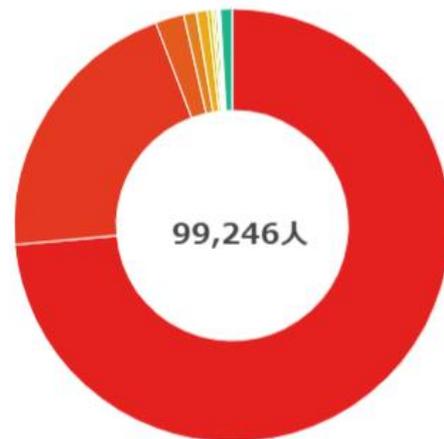
(指定地域内に日中滞在する人の居住地)



- 1位 広島県廿日市市 73,043人 (81.69%)
- 2位 広島県広島市 13,218人 (14.78%)
- 3位 広島県大竹市 1,259人 (1.41%)
- 4位 山口県岩国市 659人 (0.74%)
- 5位 広島県府中町 227人 (0.25%)
- 6位 広島県東広島市 177人 (0.20%)
- 7位 広島県呉市 165人 (0.18%)
- 8位 広島県海田町 100人 (0.11%)
- 9位 山口県和木町 87人 (0.10%)
- 10位 広島県坂町 45人 (0.05%)
- その他 434人 (0.49%)

夜間人口

(指定地域内に居住する人の日中の滞在地)



- 1位 広島県廿日市市 73,043人 (73.60%)
- 2位 広島県広島市 20,556人 (20.71%)
- 3位 広島県大竹市 2,091人 (2.11%)
- 4位 山口県岩国市 936人 (0.94%)
- 5位 広島県府中町 819人 (0.83%)
- 6位 広島県東広島市 333人 (0.34%)
- 7位 広島県海田町 201人 (0.20%)
- 8位 広島県呉市 180人 (0.18%)
- 9位 山口県和木町 133人 (0.13%)
- 10位 広島県坂町 84人 (0.08%)
- その他 870人 (0.88%)

これをみると、廿日市市やその周辺の広島市、大竹市だけでなく、東広島市や府中町、海田町からの流入やこれらの地域への流出が一定数あることが分かる。